

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 7月25日更新

事務事業名	ドキュメンタリードラマ「郷土の偉人シリーズ」事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	3 教育の健康	所属部	総務部	狩野 紀彦
	施策	13 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成	所属課	秘書政策課	狩野 紀彦
	施策の柱	46 歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承	所属班	秘書政策班	(内線) 1212
予算科目	会計	款 項 目 事業連番 根拠 一般 2 1 9 11723 法令	成果優先度評価結果 : -		
			コスト削減優先度評価結果 : -		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 29年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	熊本の偉人を取り上げドキュメンタリードラマ形式のテレビ番組として制作し九州全域に放送する株式会社テレビ熊本の「郷土の偉人シリーズ」について、平成29年度版として、合志義塾の創設者「平田一十、工藤左一」両氏を取り上げた作品を制作、放送しDVDに記録するという提案があった。平成5年から続くこの特別番組は、出身自治体の偉人顕彰事業として、これまで24作品が制作、放送されており、地域文化の発信、市のPR及び地域活性化につながる取組であり、経費負担及び財源確保をはじめ、制作に係る資料収集及び関係者との調整等を担う。またこれに併せて、フォーラムや講演会等の関連事業を実施し、後年度への継続的な活動につなげる事業である。
【業務の流れ】	番組の企画立案、制作、広告及び放送等に関し、制作会社(株テレビ熊本)との契約締結①、番組制作に係る資料収集②、関係者との調整③、財源として熊本県夢チャレンジ推進補助金の交付申請事務④、文化遺産顕彰としてのPR及び啓発のための関連事業(講演会、冊子作成等)の実施⑤
【主な予算費目】	総予算：47,000千円(市負担:20,100千円、TKU負担:26,900千円)⇒市負担20,100千円の内訳：番組制作費16,200千円+関連事業費3,900千円(財源：県補助金10,000千円+一般財源10,100千円)
【意見や要望】	上位施策「歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成」では、市議会及び総合政策審議会から、地域の文化遺産の周知や掘り起し、文化財等を活用した市内外の交流活性化、体験できる学習機会の創出をはじめ、観光と一体となった文化遺産の周知、伝統芸能等の継承者育成など多岐に亘る意見が寄せられている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
平成29年6月9日付で地域づくり夢チャレンジ推進補助金の交付決定を受け、株式会社テレビ熊本と番組の企画立案やドラマ制作のための資料収集、台本作成編集等を行った。また、ドラマ制作においてエキストラや関係者の調整等も行い、10月29日にドキュメンタリードラマ「合志義塾〜カタルパの樹がつなぐ明日〜」を放送した。放送完了を確認後、負担金支払い業務を行った。その他、関連事業としてシンポジウムと企画展を行い、多くの人に地域文化遺産を知り、触れてもらった。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 番組制作契約件数	件
→ イ: 関連事業数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民、視聴者	(単位)
	→ ア: 人口
	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
地域文化遺産(合志義塾関連、偉人:平田一十、工藤左一)を知り、触れてもらう。	(単位)
	→ ア: 関連事業への来場者数
	→ イ: 関連事業に参加した市民の割合
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠	
番組制作と併せて実施する関連事業(展示会、講演会等)への来場者数で推し測ることとし、会場の規模(御代志市民センター、西合志図書館ほか)を見込んで設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	28年度		29年度		29年度	予定	見込	見込
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)				
① 活動指標	ア 件		0	1	1				
	イ 件		0	2	2				
② 対象指標	ア 人		0	60,900	61,652				
	イ 人								
③ 成果指標	ア 人		0	1,000	6,712				
	イ %		0	1.6	10.9				
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		10,000	10,000			
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	(A) 事業費計	一般財源	千円		10,100	9,789			
		(A) 事業費計	千円	0	20,100	19,789			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0			
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		人件費	人	0	5	5			
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	0	400	1,050				
	(B) 人件費計	千円	0	1,593	4,153				
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	21,693	23,942				

事務事業名	ドキュメンタリードラマ「郷土の偉人シリーズ」事業	所属部	総務部	所属課	秘書政策課
-------	--------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						